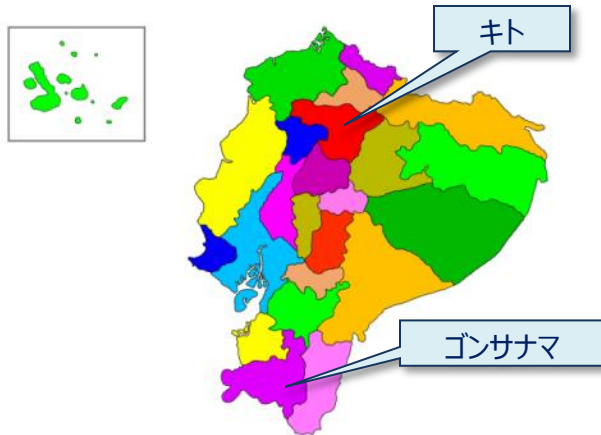


「グランデ橋梁建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「グランデ橋梁建設計画」のための、当館とロハ県による贈与契約署名式が行なわれました。

ロハ県ゴンサナマ市ナンバコラ自治区ペニャス・ネグラス地区は、自治区中心部側と村落側を結ぶ交通の要所で、農産物の輸送、人及び家畜の移動、通学、通院などに利用され、地域住民の日常生活において必要不可欠な交通経路となっています。同サイトを流れるグランデ川には、地域住民の協力で設置された木造の既存橋梁がありますが、数本の丸太に木片を疎らに並べただけで、手すりとなるのは針金1本のみと、歩行者が渡るのも危険な状態です。また、車両は通行できず、水の中を通らざるを得ません。雨季に水位が上昇すると、水深が最大約2mに達し、交通が遮断されます。危険で車両が通れない木造橋梁に代わる新たな橋梁の設置が求められています。

本計画は、前述の地区において1橋梁を建設することにより、安全な交通を確保し、地域住民の生活環境の向上に貢献しようとするものです。



供与額： 7,021,578円
贈与契約締結日： 2014年1月15日

計画実施前



署名式

